

今月のコンテンツ

- 労務管理ニュース「労務管理ホットニュース」
- シンガポール事情
- 最近の大学・インターシップ(その4)
- 「セルフケア」してますか?
- 教育訓練給付制度でスキルアップ!
- ビジストスタッフの非日常…細谷、西川

残業代ゼロ案 VS 60時間超5割増

第一次安倍政権の2007年に話題になった「ホワイトカラーエグゼンプション」が再び議論されています。これは、労働時間ではなく労働の成果に賃金を払うという発想の働き方です。適用対象は限定されますが、確かに現代の複雑化する労働のあり方をみれば時間だけでは考えられなくなっているのも事実です。しかし、労働の成果をどのように捉えるのか、ここが議論の的になっています。人事制度も各自の評価が難しいところですから。

その一方で、既に大企業には適用になっている、月60時間を超える時間外労働の割増賃金割増率を、中小企業に対しても5割以上増にしようとする法案も検討されています。こちらら長時間労働が身体に及ぼす影響を考えれば無視できない話でしょう。

しかし…



今、あなたの隣りで仕事をしている同僚が、どんなことをやっているか具体的に把握していますか?その同僚が、今実際にやっていることが、本当に必要なことでしょうか。そしてそのやり方は適切でしょうか。

は適切でしょうか。

とある勉強会で、「直接の上司であっても、部下の仕事内容を具体的に把握できていないのではないのでしょうか。今やっていることが必要なことで、適切な方法でやっているかどうか把握するのは困難になってきているように思います。」と投げかけてみたところ、皆さん「そうだそうだ」といわんばかりに首を縦に振って、現状の把握が困難なことを示していました。いつの間にか仕事は「個」でやるが多くなってしまいましたから、他人のことは分からないのでしょね。

しかし、法律が制定されれば、決められた時間を超えて働かせることはコスト高になります。そしてリスクになるのです。そこで経営

サイドとしては、従業員が今やっていることを把握する必要が出てきます。まさに労働の質を見極めていく必要があります。そうすると、従業員に「何をやるべきか」「どうやるべきか」を理解させて行動させる必要が出てきます。個々の会社での「あるべき姿」の確定と従業員全員の共有が不可欠です。これからは、そのための従業員教育が必要になってくるといえるでしょう。

助成金も教育をあと押ししている

政権交代と共に大きく変わった助成金ですが、今年度も色々変化しています。しかし、昨年からのキーワードは変わりません。

それは、「従業員教育」や「非正規雇用の待遇改善」です。従業員を教育したり、非正規雇用の待遇を改善したり、非正規雇用に正規雇用に転換したり…といったところに助成金が集中して支給される傾向にあります。残念ながら、今までのように単に雇用するというだけでは、助成金の受給は難しいのです。しかし、従業員を教育してレベルアップしなければ、会社のレベルアップも見込めないのも事実です。企業は人なり、ですから、この機会に従業員教育を検討してみられるのも一つの方法です。従業員教育は企業にとって有意義な投資です。そこでビジストではセミナールームを設置し、従業員のレベルアップを推進する教育研修もご提供しています。



セミナールームでは、定期的にセミナーを開催しています。また、ビジストでセミナーを開催していないときはセミナールームをお安くお貸しすることもできます!お声掛けください!



編集こぼれ話

新オフィス移転から早一ヶ月が過ぎようとしています。窓から見る景色は賑やかな大通りに高層ビル、行き交う観光客らしき人々の群れ…世の中は今日も確かに活動しているなあと休憩の合間にぼんやりと眺めることが習慣になってきました。

少し客観的な気分で外の世界を見るとなぜか気分がすっきりします。この気分転換法は移転後の新発見でした!しかしながらこの方法が、果たして他の方にも有効なのかは少々疑問ですが…。

さて、事務所に隣接しているセミナールームにはお陰様で傾聴カフェや管理職の方を対象にしたセミナー等で大勢の皆様にお越し頂いております。

今後も皆様に興味を持っていただけるセミナーを続々と開催して参りますので、是非ご参加をお待ちしております。

これから梅雨の時期に入参りますが、皆様どうぞお身体をご自愛下さいませ!

モリモト

シンガポール事情

大西 美佳



4月に知人とシンガポールに行ってきました。シンガポールといえば、マーライオンと、国際会議や大規模な展示会ができるホテル、医療サービス、カジノがあり、国の施策により発展している国というイメージ。

シンガポールの JETRO で、最新の経済事情を聞くことができました。プリーフィングサービスといって、予約さえすれば、1時間程度で、コンパクトに建国から現在までの経済状況など、丁寧に教えてくれます。私たちが人材ビジネスをやっていると知って、事前に人事コンサルのシンガポール進出状況をまとめてくださっていました。担当の方の配慮がうれしかったです。

ここ5年ほどで弁護士、監査法人などの法務サービスも進出が多くなっているようです。

シンガポールの国土は東京23区程度、530万人の多民族国家。1965年の建国以来一党体制で繁栄を築いています。JETROの方によると、企業団地を作り外国企業の誘致をするときに、ただ土地がありますよというだけでなく、道路わきにきれいに花壇を作って花を植えたそうです。なぜなら、それぐらい丁寧にきちんと仕事ができる人材がたくさんいますよというアピールだったそうです。スラム街もこわして、多くの国民は国の建てた住宅に住んでいます。このように政府主導の経済政策により、今日の繁栄があるとのこと。現在も、地下鉄をどんどん拡張整備し、利便性を高める努力を怠っていません。

政治が安定している、汚職がない、インフラが整っている、法人税が低い、会社設立が容易。そして、行政の全ての申請がインターネットでできるなど、他の国より海外拠点としてのメリットが大きい。日本企業が東南アジアへの進出にあたっては、各国ごとに現地法人を作り人材を投入してきたのですが、その国ごとの治安など含めてデメリットもある。そこで、最近のトレンドとしては、シンガポールに営業・物流拠点となる統括法人を置き、周辺の諸国へ営業、輸出入をする体制をとる企業の動きがあります。その流れはまだ始まったばかりだそうです。そういう意味で、シンガポールはこれからも熱い国のようです。そしてグローバル化が進み、どこの国でも通用する人材育成や人事制度が求められています。

グローバル人材育成のコンサルティング会社を立ち上げたMさんと現地でお会いしましたが、非常に素晴らしい方でした。このような方たちとご縁をつなぎ、私も幅広く人材育成に関して、これからもアンテナを高めておきたいと思います。

現地の移動手段はMRT(地下鉄)とっても便利♪



(最近の大学生・インターンシップその4)

磯部 和代

大学生はどんなインターンシップを好むでしょうか?

これは、一言では語れませんが、まじめな学生は長期間で何か得ることができるもの、もしくははっきりした目的意識を持っているので、それを経験・獲得できるインターンシップを探します。

例えば、カリスマ社長と働きたいと思えば、若手の有名な社長に弟子入りするような大学生もいます。外資系で将来働きたいという学生で、外国のNGOでのインターンシップをし、そこで得た人脈をもとに外資系での就職を有利に展開する学生もいます。将来は農業をやりたいという東大生が企業規模10人くらいの造園業でインターンした例もあります。皆、すがすがしい若者で、自分の学生時代に比べたら最近の若者はすごい!!と思うような学生が多いです。

反対に、就職活動前に慌てるタイプの大学生もいます。今まで、これといった活動を大学中に行っていない学生は就職活動始める前に、自分の棚卸をし、何か特筆すべきことを経験したくなるものです。その場合は、形だけのインターンシップを始めます。2日で介護体験ができる!1週間で~のようなインターンにそのような学生が飛びつくのは容易に察しできます。

全体としては、課題解決型や体験型と言った言葉を銘打ったものがはやってる印象を受けます。課題解決型は、会社の中にある課題を与え、それをインターンシップ中に解決するようなものです。例えば、会社のさえないHPを学生のインターンシップ生がわんさか来るようなHPに変えてくれという課題をだして学生に任せるのです。学生の特性をうまく利用し、会社側も学生もお互い充実感のあるインターンシップができます。

学生はその会社のトップがどのような人かに興味を持っていますので、インターンシップの最後には、幹部相手の報告会を開催するのも良いです。



「セルフケア」してますか？

尾崎 貴子

メンタルヘルスケアの重要性が言われる今、その予防として職場でのコミュニケーションの活性化が必要です。

相手の気持ちを考えながら、きちんと発言し、時には『NO』と言える事で、職場でのコミュニケーションは、もっとスムーズになり、活性化が図れると考えます。



セルフケアのひとつとして、『アサーション』があります。『アサーション』とは、自分も相手も大切に考える『相互尊重のコミュニケーションスキル』です。

『人から頼まれ事をされたが、今は手いっぱいなので断りたい。』そんな時に、相手にきちんと自分の気持ちを伝え、断る事が出来れば、ストレスを感じる事も少なくなります。

しかし、相手に悪いなぁと考えたり、後で関係が悪くなるのでは？と考えて、嫌々受けることはないですか？あるいは、その場はその言い訳をして断ったり、きつい言い方で断ってしまったために、その後ずっと、そのことに対して気になっていたことなどは、ないでしょうか？

相手の気持ちを考えながら、自分の気持ちに正直な行動をする為には、普段の自分のコミュニケーションの取り方や考え方のくせに気づいて、行動することが必要です。

そして、アサーティブな伝え方の実際の場面では

- ・自分の気持ちに**正直に**
- ・伝えたいことの目的を絞り**簡潔に**
- ・なぜ、断りたいのか？その理由を**具体的に**
- ・**相手の気持ち**も、しっかり汲みとって
- ・どうしても断りきれない時の折衷案も考えつつコミュニケーションをとっていきます。

コミュニケーションのパターンは自分の経験や過ごしてきた生活環境等で培われてきたものですから、繰り返し練習することで変える事が可能です。アサーティブな考えのもと、様々な場面ととってきた自分の言動を振りかえり、伝え方を考え、行動することが、セルフケアとなります。

日常の様々な場面で、今、自分の気持ちはどうなのかを感じ、相手の気持ちを尊重したうえで、『YES、NO』を、自分の責任において決めることが大切です。



自分に、ストレスはないと考えていても、自分の気持ちを置き去りにしていることはないですか？(OKと言ったが、気持ちはNOと言っている…。)

一度、ご自身の**正直な気持ち**を様々な場面で感じてみる。

セルフケアしてはいかがでしょうか。★★★

10月からはますます充実 教育訓練給付制度でスキルアップ!

森本 雅子

日々従事している仕事の幅をより広げたい、専門的な知識を身につけてスキルアップを計りたい…このように考える方はたくさんいらっしゃるでしょう。

会社としても従業員のスキルアップは顧客へのサービス向上に役立ちますし、個々が仕事にやりがいを見出し、自信をつけることで仕事へのモチベーションが上がり、社内の活性化にもつながります。



簿記検定や、司法書士試験、語学検定など働く人の職業能力アップを目指す講座の受講に対して雇用保険より受講費用が一部支給される制度「教育訓練給付制度」が10月1日より拡充され給付金が引き上げられます。

教育訓練給付制度

給付対象の講座は厚生労働大臣指定であることが必要です。講座の種類は多彩で、趣味的一般教養的な講座は除かれますが、事務関係では簿記検定や行政書士、各国語の検定試験など、またWEBデザイナーやCADなどの情報処理系、技術系・社会福祉系など、専門的な資格・検定の為の講座が揃っています。

平成26年6月現在の給付金の支給額は教育訓練経費(講座の受講費)の20%に相当する額となっておりますが、10月からは40%に引き上げられる予定です。

また10月以降の拡充として離職者がこの制度を利用後、資格取得等を果たし就職に結びついた場合はさらに受講費用の2割が追加で給付される予定です。

給付の上限額も現行の10万円→48万円と大幅にアップします。対象者には雇用保険の被保険者期間が3年(10月以降は2年)以上などの条件があります。

資格や検定の合格を目指してスクールに通うとなると、やはりまず受講料のことが頭を過ぎりついこの足を踏んでしまい、せっかくスキルアップを目指していた気持ちがあいつの間にか冷めてしまった、という経験をお持ちの方もいらっしゃるかと存じます。

希望の講座を受講しながら頑張ってお勉強の結果、見事スキルアップに成功して受講料の半分近くが支給される…習得した知識は一生の財産になりますし、更なる高みを目指そうという新たな目標も生まれますね。

求職者が対象の「職業訓練受講給付金」は受講中の生活を支援する為の制度ですが、教育訓練給付制度は在職者も対象にした、本人のスキルアップを支援する為の制度となっています。厚生労働省が掲げる「キャリア形成支援」施策の一つです。

今の仕事に活かせる資格や全く新しい知識を習得できたら、更に仕事や生活が快活になりそうですね。



「教育訓練給付制度」の詳細や受講できる講座の内容は、厚生労働省のHPにてご確認ください。

<http://www.mhlw.go.jp/>

ビジストスタッフの**非**日常！

行きました！京都の**おいしいもん**

細谷 明子

京都 おいしいもん、味見ツアー



「京都の**おいしいもん**を食べ歩き」という魅惑的なキャッチフレーズを見ただけで、「そら～行きますわ!」となるのが、私がやっている食べ歩きメンバーです。

この嬉しい企画を提供してくれるのが、京都にあるツアー会社、cerca travel (チェルカトラベル) さんです。ビジストの

お客様でもあります。のご案内を一目見たそのときから、絶対行こう!と決めていたので、5月17日土曜日、それはそれは楽しい時間を過ごせました。このツアーの良いところは、こじんまりしていること。当日は、私たち3人と、滋賀からの2人連れマダム計5名でのツアーでした。移動するのも便利ジャンボタクシーで、京都の老舗を6箇所も巡ってくれるのですから! ゆったり景色を見ながら、今行ったお店の感想を言い合ったり、次のお店に思いをはせたり…それにしても、行く先々で美味しそうな食べ物たちが誘惑してくるので、ついつい大人買い!ちゃんとエコバックを持っていったのですが、ジャンボタクシーの八坂タクシーさんからもノベルティのエコバックをいただきましたから、持ち帰り準備は万端です。いつも美味し

いモノ情報を求めてウロウロしていることもあって、半分くらいは知っていたり行ったことがあったりしたお店でした。それでもツアーとして行くと、ちゃんとご説明していただけたら、お茶を出していただけたらと嬉しい特典があります。既に京都通であっても楽しめると思えました。

ちなみに、八ツ橋は会社のお土産として、



湯葉のお店では生湯葉から乾燥湯葉まで、ご飯のおかずにお酒のおつまみに…と理由をつけて購入。漬物屋さんでは名残の竹の子が皮のまま漬物になっている!という初めての商品に胸を躍らせて購入。お茶のお店では抹茶味の激ウマスイーツと、お茶を嗜む母のために抹茶を購入。カツサンドが美味しいお肉屋さんでは、手作りのキムチを見つけて「美味しいよ!」の掛け声に押されて購入。

昆布のお店では味見用の昆布アメをたくさんいただきました。…ということで、荷物がすごいことになりました。でもこの充実感は何?解散したのが午後2時前だったので、「ビールでも飲む?」ということで、昼ビールを飲んで締めくくりました。



動物… 癒しのひととき!?

西川 佳久

本当に久しぶりに、天王寺動物園に行ってきました。

子供が小さい頃は、動物を見せるととても喜んだし、リーズナブルということもありちょくちょく出かけていましたが、自分自身は特別動物好きということでもないで、最近は何となく行く理由もなく遠ざかっていました。

私は南大阪(泉大津市)に住んでいるので、天王寺動物園までのルートは、南海で新今宮駅まで行って、JR環状線で天王寺駅に出るか、南海で天下茶屋駅まで行って、地下鉄堺筋線で動物園前駅もしくは恵美須町駅に出るか、ということになるのですが、今回は後者のルートで恵美須町から歩くことにしました。

理由は、恵美須町からだ徒歩の間も通天閣の直下を通り抜けられて、動物園到着まで周辺を楽しめるかなと思ったことと、地下鉄御堂筋線だと動物園前駅からゲートまでは結構近いのですが、堺筋線の動物園前駅からはちょっと距離があり、恵美須町駅から歩くほうが近いかもしれないと考えたからです。

その選択が正解だったかどうかハッキリとはわかりませんが、通天閣を間近に見たのも久しぶりだったり、新世界のあたりがこんなにも賑わっているんだと感心しているうちにあっという間に目的地に到着できたこと等、良かったことが多かったなと思います。

さて、天王寺動物園の新世界ゲート前…

なんだ!この人の多さは!!と驚きつつ周囲を見回していると、

どうやら天王寺動物園は周辺観光事業とともに100年祭とのこと。小さい子供を連れた家族が多く、キッズには今も人気があるんだなと再確認しました。

張り切っていたわけではないですが、開園時間に合わせていったので、園に入るための行列に並ぶ羽目に…

改札を通過中に入るのに、10分近くもかかってしまいました。以前に来た時と、園内の動物の配置等レイアウトは大きく変わっていませんでしたが、違いを感じたところは、動物の種類や数が少なくなっているかな?ということと、ニオイが弱くなっている?ということ。

特に夜行性動物館内はひどいニオイだったはずなのに、ほとんど気にならないぐらいになっていました。

動物には人を癒す力があるということで、少々期待しつつ園内を散策していると、象のごはんタイムに遭遇し、象が草を食べるシーンを目撃することができました。



色々な動物がいる中で、私が好きなのは左の写真に小さく写っている白くまです。ずっと寝ているだけの動物も結構いるのですが、白くまは動きっぱなしで仕事してるなって感じで良かったです。

おおかみも動き回っていて見応えありますが、ライオンやトラは全くやる気なしの様子。

それでも彼らに元気をもらえた癒しの一日となりました。

